

# 発明を活かす、特許の有効活用方法

発明を活かし特許を有効活用するためには対象国での特許権の取得が有力な手段となりますが、知財を取り巻く環境は近年めざましく変化しつつあります。次回の特許セミナーでは、知財評論家の荒井寿光氏をお迎えし、「現在の科学技術・経済環境下での発明の重要性及び国内外の知財動向に基づくアドバイス」について分かり易く解説していただきます。また、弊所弁理士による講演では、国内外における早期権利化手段とその留意点、並びに昨年最高裁判決が出たプロダクト・バイ・プロセス（PBP）クレームの解釈について、日本及び主要国での取扱いに触れて国内外の出願における有効な活用法及び留意点について分かり易く解説いたします。

参加費無料

2017年2月24日（金）13:30～18:00

リーガロイヤルホテル大阪 ウェストウイング2階 「ペリドット」

※詳細は後日、ご案内致します。



講師：荒井 寿光氏 知財評論家

- 東京大学法学部卒業 ●米国ハーバード大学大学院修了
- 特許庁長官、通商産業審議官、  
内閣官房知的財産戦略推進事務局長などを歴任
- 知財立国、特許戦略時代（共に日刊工業新聞社）など著書多数

「現在の科学技術・経済環境下での発明の重要性及び国内外の知財動向に基づくアドバイス」

国内出願の量から質への転換、企業活動のグローバル化、海外企業の日本進出等、知財を取り巻く環境は近年めざましく変化しつつあります。現在の科学技術・経済環境下で企業が発明を活かすためのアドバイスについて、国内外の知財動向、政府の取り組みを含め、これまでの知財関連機関での経験を踏まえて分かり易く解説いたします。



講師：林 雅仁（業）三枝国際特許事務所 所長弁理士

「国内外における特許の早期権利化手段とその留意点について」

近年、企業活動のグローバル化にともない、国内外でコストを抑え早期に特許を権利化する要請が高まってきています。審査を促進する手段として、特許審査ハイウェイ（PPH）、各国における審査促進制度などが広く活用されてきていますが、本講演では、これらの審査促進手段の内容及び利用状況について紹介するとともに、効果的な利用方法及び留意点について解説いたします。



講師：田中 厳輝（業）三枝国際特許事務所 弁理士

「外国出願を見据えたプロダクト・バイ・プロセスクレームの活用」

平成27年6月のPBPクレームに関する最高裁判決（プラバスタチンナトリウム事件）は実務に大きな影響を与えました。本講演では、国内におけるPBPクレームの取扱いについて振り返るとともに、主要国における取扱い等にも触れつつ、国内だけでなく外国出願を見据えたPBPクレームの有効な活用法及び留意点について解説いたします。

# 会場アクセス

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68

TEL : (06) 6448-1121 FAX : (06) 6448-4414

## リーガロイヤルホテル 周辺ご案内図



リーガロイヤルホテルは、大阪・中之島にあり、「大阪」駅からは無料送迎バスも運行しております。

## 各種お問い合わせ

特許業務法人三枝国際特許事務所 TEL : (06) 6203-0941

担当 : 柚木(ユノキ) E-mail : yunoki@saegusa-pat.co.jp